

国営施設機能保全事業「射水平野地区」の工事实施状況について

1 事業概要

本事業は、西北陸土地改良調査管理事務所 射水平野支所において、実施しており、過去の国営土地改良事業により、造成された排水機場（3カ所）と排水管理施設について、施設機能を保全するための整備を行っています。

施設の供用を行いながらの整備となるため、施設操作者である射水平野土地改良区と綿密な調整を行い、協力を得ながら事業を進めているところです。

- ・ 関係市町：富山県富山市、高岡市及び射水市
- ・ 受益面積：3,153ha（水田 3,103ha、畑 50ha）
- ・ 事業工期：平成25～令和4年度（予定）
- ・ 主要工事

施設名称	主な工事内容
東部排水機場 西部排水機場 中央排水機場	ポンプ設備改修 排水機場耐震対策
排水管理施設	排水管理施設更新



本地区の排水機場は海水面よりも低い農地等の排水を海に排出し、湛水被害から守っています。

2 令和2年度の工事实施状況

令和2年度は、造成後40年以上が経過した排水機場建屋の老朽化対策として、排水機場柱の補修・補強工事を行いました。

また、今年度は、国営施設機能保全事業と併せて防災情報ネットワーク事業も実施しており、この事業では、非常時においても排水機場の機能を確保するための整備として、ポンプ電気設備の改修を行いました。



排水機場建屋の工事では、柱の脆弱部を除去した後、無収縮モルタルの充填やポリマーセメントの被覆にて補修。
（写真は脆弱部撤去後の状況確認の様子）



排水機場の電気主任技術者は土地改良区の職員が担っており、電気設備工事にあたり、綿密な調整を実施。
（写真はPAS開閉の様子）